

日時 平成28年10月6日(木)

5校時

場所 白糠中学校 音楽室

授業者

1. 題材名 演奏のみりよく
教材名 『語りあおう』(教科書：教育出版6年)

2. 題材について

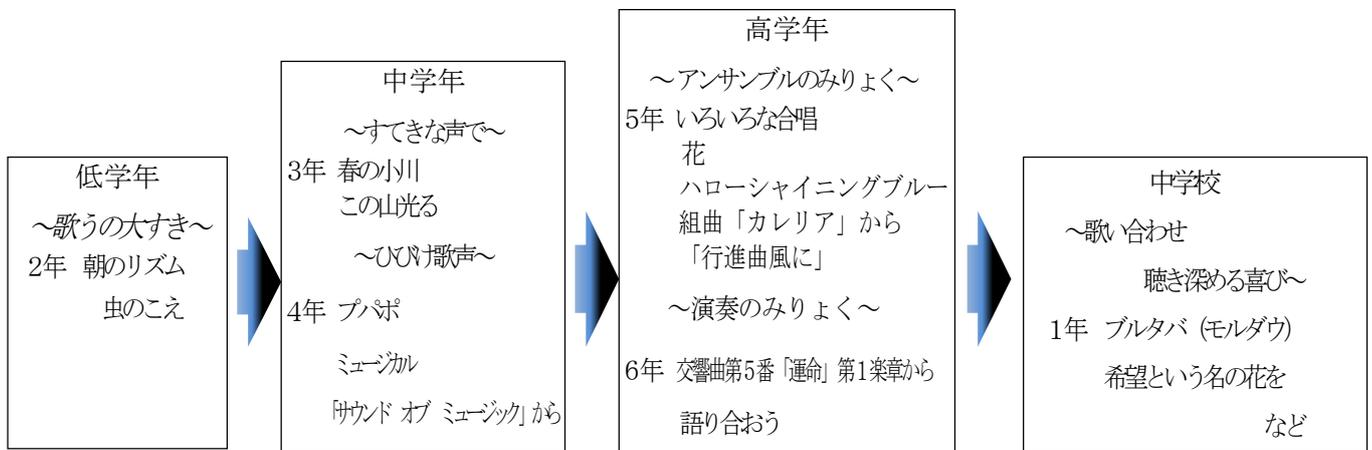
(1) 題材のねらい

この題材では、オーケストラや指揮者の違いによる様々な演奏の良さを味わって、表現の多様性を知り、自分たちの演奏に生かすようにすることがねらいである。

鑑賞では、オーケストラの楽器の響きを味わいながら、演奏する人たちや指揮者によって、音楽の表現や表情が違うことを聴き取るようにする。「交響曲第5番「運命」第1楽章から」を通して、速度や強弱、旋律の反復・変化など曲想を捉えさせ、表現の工夫に活かしていきたい。

「語りあおう」では、歌詞の内容を味わって、旋律の反復・変化を聴き取り、強弱やフレーズの歌い方をどのように表現するか自分の考えや願いを持って、表情豊かに歌うようにする。学習の終末では、学芸会での合唱発表を意識させながら、二部合唱で美しい声を響かせたい。

本題材の系統 歌い方・演奏の仕方／アンサンブルの楽しみ



小学校では、歌うことに興味を持たせることから始まり、合唱や鑑賞を通して「表現の仕方」「表現の工夫」など基本的な技能を身に付けさせ、中学校では、自ら、音楽的要素を楽譜から読み取り、感じ、表現を工夫しようとする力を身に付けさせていく。

(2) 児童の実態

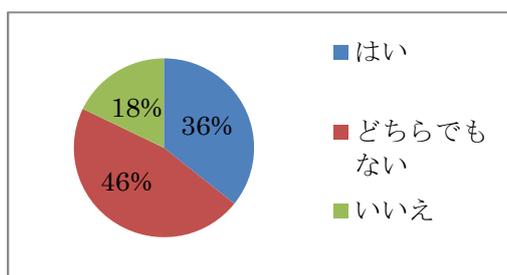
中学年の頃は、歌うことが好き、または相手に伝わるような声で歌うことができる児童が多かった。1時間の学習の中でも、これまで既習した歌を歌うことを習慣とし、また行事がある度に2～3ヶ月前から朝の会などでも歌ってきた。歌うことへの抵抗はなかったが、高学年になり「歌うことが恥ずかしい」という意識を持ち始め、小さな声で「口ずさむ」程度の歌い方で終わって

しまっている。鑑賞については、「楽しそう」「激しい」「穏やか」など簡単に感想を述べる
 ことができる。これから学芸会、そして卒業式を迎えるにあたって、「心を開いて」、歌詞の意味をか
 みしめ、「表現を豊かに歌うことができる児童」を育てていきたい。

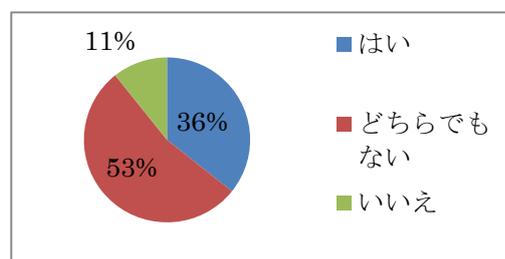
アンケートでは、「歌うことは好きですか」という質問に対して、「どちらでもない・いいえ」
 が64%であり、理由としては「上手ではないから」が多くを占めていたが、「上手になりたい
 か」という質問では、「はい」と答えた割合は53%であった。このことから、「恥ずかしい・上
 手ではない」と自信は持てないが、「うまくなりたい」という思いや願いを持っていることがわ
 かった。本題材において、表現を工夫することのおもしろさを通して積極的に歌うことの楽しさ
 を知ることができるようにしていきたい。

アンケート

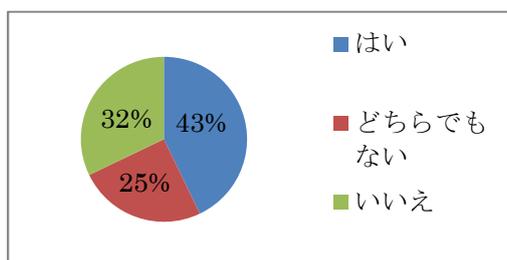
1. 音楽の学習は好きですか。



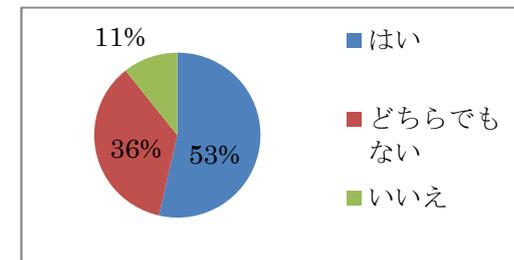
2. 歌うことは好きですか。



3. 楽器（リコーダーなど）を弾くことは好きですか。



4. 歌うことが上手になりたいですか。



小中一貫校に向けた取組の中で、小学校6年生が中学校に登校する「乗り入れ授業」を行っ
 ている。1週間に1回の登校であるが、登校日には音楽の学習を入れ、中学校の音楽の先生に
 授業に入っていただき、専門的な分野からより細かな指導をいただいている。そのことにより、
 発声の仕方、曲調を捉えた歌い方など意識や取組に変化がみられるようになってきている。

3. 題材の目標

【音楽への関心・意欲・態度】

様々な演奏のよさに興味・関心をもって鑑賞したり、歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫
 し、思いや意図をもって歌ったりする学習に主体的に取り組もうとしている。

【音楽表現の創意工夫】

旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、
 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

【音楽表現の技能】

互いに聴き合い、旋律の反復・変化を感じ取りながら、歌詞の内容、曲想を生かした表現で歌

っている。

【鑑賞の能力】

速度・強弱などを手掛かりに、いろいろな演奏を聴き比べ、感じ取ったことを言葉で表すなどして、曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。

4. 本題材の言語活動について

- ① 速度や強弱などを手掛かりに聴き比べ、曲の特徴や演奏の良さについて話し合う。
- ② 歌詞の内容、曲想を生かした表現について、どのように歌うかを思いや意図をもって話し合う。

5. 題材の指導計画(4時間扱い)

時		評 価				◇具体的な評価規準 【評価方法】
		関	創	技	鑑	
第1次 (2時間)	1	○			○	◇「交響曲第5番第1楽章」の全体の曲想やその変化を感じ取り、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的に取り組もうとしている。<関-①>【表情の観察・記述の内容】 ◇速度・強弱などを手がかりに、感じ取ったことを言葉で表すなどして、「交響曲第5番第1楽章」冒頭の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。<鑑-①>【表情の観察・記述の内容】
	2				○	◇演奏者や指揮者による表現の違いを聴き比べ、それぞれの音楽表現のよさを味わって聴いている。<鑑-②>【表情の観察・記述の内容】
第2次 (2時間)	3 (本時)		○			◇「語りあおう」の旋律の反復・変化を聴き取り、強弱やフレーズの歌い方をどのように表現するかについて自分の考えや願い、意図をもっている。<創-①>【歌っている様子の観察・歌声の聴取】
	4		○	○		◇互いのパートの旋律や伴奏を聴きながら、表情豊かに「語りあおう」を合唱している。<技-①>【演奏している様子の観察・歌声の聴取】 ◇「語りあおう」の歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。<創-②>【歌声の聴取】

6. 本時について

(1) 本時の目標

【音楽表現の創意工夫】

「語りあおう」の旋律の反復・変化を聴き取り、強弱やフレーズの歌い方をどのように表現するかについて自分の考えや願い、意図をもっている。

(2) 本時における『言語活動』

「語りあおう」の旋律の反復・変化を聴き取り、強弱やフレーズの歌い方をどのように表現するかについて自分の考えや願いについて話している。

(3)本時の展開 (3/4時間目)

	学 習 活 動	教師の働きかけ	評価・留意点
導入 5分	<p>○発声練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口型, 姿勢, 声量に気を付けて発声練習をしている。 <p>○既習曲を歌唱する。</p> <p>○前時までの学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮者によって演奏の仕方が違った。 ・速度, 強弱が違ったね。 	<p>T2; ピアノを用いて発声練習をさせる。</p> <p>T1; 机間巡視し, 口型・姿勢について指導する。</p> <p>T2; ピアノ伴奏をする。</p> <p>T1; 速度, 強弱などのキーワードを黒板に貼る。</p>	
展開 30分	<p>○「語りあおう」を歌っている映像から歌い方で感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴いたことがある声だね。 ・元気がないね。 ・もっと強く歌った方がいいね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「語りあおう」の歌い方について考えて、話し合い、歌ってみよう。</p> </div> <p>○曲の構成について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アからイに移って曲の感じが変わった。 ・アとウは似ているね。 <p>【個人・グループ】</p> <p>○フレーズのアとイの違いからどのように歌ったらよいか考え, ワークシートに記入する。</p> <p>○グループで話し合い, まとめる。</p> <p>ア・元気に歌うといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつめあおうの「み」やかたりあおうの「た」を強く歌う。 <p>イ・優しく歌うといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを込めて歌うといい。 <p>【全体】</p> <p>○各グループで歌い方について発表する。</p> <p>ア・強弱を付けて歌うといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びやかに歌うといい。 <p>イ・アからの変化に気を付けて歌うといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語りかけるように歌う。 ・音量も小さめに歌うといいね。 	<p>T1; 児童に聴いた感想について発表させる。</p> <p>T1; アからイに移る時の変化に気付かせる。</p> <p>T2; 発言に沿ってせん律, 反復・変化, フレーズと言葉を置き換え, 提示する。</p> <p>T1; ワークシートとペンを配布する。アとイの歌い方について考え, 記入するように指示する。</p> <p>T1; 司会の児童を中心にグループごとに話し合うように指示する。</p> <p>T1; 黒板に貼るように指示し順番に発表させる。</p> <p>T2; ポイントになる発言をしたグループを取り上げ, 気付かせたい音楽要素に振り返させ, 実演させる。(伴奏)</p> <p>T1; 複数出てきた歌い方については【ポイント】として板書する。</p>	<p>・映像を大型TVに映し出す。</p> <p>・楽譜と歌詞を拡大表示し, アとイについて確認する。</p> <p>【評価】 歌い方をどのように表現するかについて自分の考えや願い, 意図をもっている。※ワークシート</p>
整理 10分	<p>○全員で「語りあおう」を歌う。</p> <p>○学習をふり返り, ワークシートに記入し, 発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱に気を付けると, 気持ちよく歌うことができた。 ・歌う時には, 歌詞の意味が分かることが大切だと思った。 	<p>T1; 歌い方の【ポイント】について振り返らせ, 歌うように指示する。</p> <p>T2; 伴奏する</p> <p>T2; 学習の様子について講評する。</p>	<p>ワークシートにふりかえりを書かせる。</p>

大型 TV